



エスワティニ王国メター・ドロロサ高等学校及びムクゼニ高等学校との間で 草の根・人間の安全保障無償資金協力(GGP)の契約を締結

令和6年3月18日エスワティニ王国ムババネ市にあるエスワティニ教育訓練省において、牛尾滋駐南アフリカ日本大使は、草の根・人間の安全保障無償資金協力(GGP)の実施の一環として、メター・ドロロサ高等学校及びムクゼニ高等学校の代表者と無償資金協力契約を締結した。プロジェクト名は以下のとおり。

・団体名:メター・ドロロサ高等学校

プロジェクト名:ムババネ市メター・ドロロサ高等学校コンピューター棟建設計画(51,563 米ドル)

・団体名:ムクゼニ高等学校

プロジェクト名:マンジーニ県ムクゼニ高等学校教室棟建設計画(57,255 米ドル)

日本政府から大使館を通じて提供される金額は、総額 1,944,000 米ドルとなる。

GGP は 1989 年に始まった日本の助成制度。草の根レベルで人々の幸福に直接影響を与える非営利団体を支援するプロジェクト。人間の基本的ニーズの改善を目指す分野や、人間の安全保障の観点から特に重要な分野において優先的に支援を実施している。

日本大使館は、この協力がエスワティニ王国の人々の社会的・経済的福祉の実現につながることを期待している。

